



8月1日のスイス建国記念日にアルプホルンコンサート開催

— スイス館ギフトショップにてスイスの文化遺産、自然保護を目的としたイヤール・バッジを特別販売 —

8月1日のスイスの建国記念日を祝して、物語『ハイジ』の舞台として有名なグラウビュンデン州(スイス南東部)出身のアルプホルン楽隊およびバリトン歌手がスイスより来日します。8月1日の万博会場をはじめ、愛知県豊田市、神奈川県箱根町にて無料コンサートを開催します。スイスの伝統的な楽曲が4つの公用語で披露されます。

なお、スイス館は館主催行事のため8月1日は14時30分で閉館となります。

■開催概要

開催日時: 2005年8月1日(月) 第1回 16:00~16:20、第2回 16:45~17:05

会場: 愛知万博長久手会場グローバルコモン4 イベントステージ

出演: アルプホルン楽隊「エンジャディーナ」、クラウディオ・ダヌーザー(バリトン歌手)

演目: 「Lueget vo Bärgen und Tal(山谷から見てごらん)」(スイス・ドイツ語)、「Adieu a l'Engiadina(さようなら、エンジャディーナ)」(ロマンシュ語)、「Dorma bain(おやすみなさい)」(ロマンシュ語)、「Vieux chalet(古いシャレー)」(フランス語)、「Quel mazzolin di fiori(小さな花束)」(イタリア語)、ほか

その他の公演予定

愛知県豊田市	8月2日(火)	トヨタ会館	15:00~15:30
神奈川県箱根町	8月3日(水)	山のホテル	12:00~12:30、15:30~16:00、19:00~19:30
		元箱根港	14:00~14:30
	8月4日(木)	元箱根港	10:00~10:30
		芦ノ湖遊覧船	10:40~11:20
		桃源台港	11:30~12:00
		強羅公園	14:30~16:00の間、2回開催

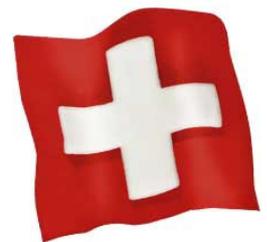
※箱根での公演は天候などにより変更になることがあります。

<文化遺産、自然保護を目的とした「プロ・パトリア」イヤール・バッジを特別販売>

スイス館内のギフトショップ「ベスト・オブ・スイス」では、「プロ・パトリア」イヤール・バッジを特別販売しています。

「プロ・パトリア(Pro Patria)」は、スイスにおける文化遺産や自然の保護に対する助成を目的として設立された財団です。毎年8月1日の建国記念日前後にイヤール・バッジを作成し、スイス国内で販売しています。身体障害者の方達により制作され、売上金は同財団の支援基金となります。毎年300万スイス・フラン(約2億5,800万円; 1スイス・フラン≒86円)以上の基金を得ています。

本年のバッジはスイス国旗をモチーフにしたもので、定価は500円(税込)です。スイス館での売上げは全てプロ・パトリアに寄与されます。既定数量終了まで販売します。



「プロ・パトリア」イヤール・バッジ
イメージ画像



■アルプホルン楽隊「エンジャディーナ」(Engiadina)プロフィール

1995年、スイス・グラウビュンデン州エンガディン地方サン・モリッツにて設立。聖歌、ワルツ、ポルカ、マーチなどの楽曲を演奏している。毎年スイス国内外で120ものコンサートを開催。過去の8月1日の建国記念日には、シンガポール、タイ、アラブ首長国連邦、南アフリカ、中国にて公演。

参加ミュージシャン：ルエディ・ビルヒラー (Ruedi Birchler)

マリオ・サリス (Mario Salis)

ハンスペーター・ダヌーザー (Hanspeter Danuser) (サン・モリッツ観光局総裁)

ウルス・フィエヒター (Urs Fiechter)

アンドレアス・ディリヴァヒター (Andreas Diriwächter)

■クラウディオ・ダヌーザー (Claudio Danuser) (バリトン歌手)プロフィール

1958年、スイス・バーゼル生まれ、グラウビュンデン州出身。

ベルン大学にて音楽学を専攻。ローザンヌ、ローマ、ミラノ、フィレンツェ (1986年イタリアオペラ学位取得)、チューリッヒの国際オペラスタジオにて経験を積み、1986年、モンテプルチャノ・フェスティバル (イタリア) にてオペラデビュー。その後、スイス国内 (ベルン、ジュネーブ、チューリッヒ)、イタリア (ジェノバ、マテラタ)、ドイツ (Bad Hersfeld Opera Festival)、イギリス (Opera Factory London)、イスラエルにて数々のオペラハウス、フェスティバルに出演。バリトン歌手として、イタリアオペラ、フランスオペラ、モダンオペラの上演レパートリーを持つ。

■スイス建国記念日について

8月1日のスイスの建国記念日は1891年にスイス連邦建国600年を記念して制定され、1994年より国民の祝日となりました。当日は大統領らによる演説が行われ、国中で花火が打ち上げられます。人々は外に集まり、子供たちは紙ちょうちんを持って記念日を祝します。また、多くの山で大きな焚き火が焚かれ、人々は遠くからきれいな夜景を楽しみます。これはスイスの伝統的な行事で、かつては国民に危険を知らせるために使われていました。

■グラウビュンデン州

来日ミュージシャンの出身地であるグラウビュンデン州は、スイス南東部に位置し、リヒテンシュタイン、オーストリア、イタリアの3国と接するスイス最大の州です。多彩な歴史と文化を誇る州で、ドイツ語、イタリア語、ロマンシュ語の3つの言語が話され、古くからの伝統や風習が守られています。多様な気象環境のため、万年雪の氷河から地中海性の温暖な地域まで、さまざまな表情を兼ね備え、山、谷、湖、河川が織り成す美しい風景が広がっています。物語『ハイジ』の舞台としても有名です。

(スイス政府観光局資料より抜粋)

※スイス館、ダイナミック・スイス キャンペーンプログラムに関する詳細、および、写真のダウンロードは www.dynamic-switzerland.jp をご参照下さい。